



アドビ株式会社
141-0032 品川区大崎 1-112
ゲートシティ大崎イーストタワー

Adobe MAX 2022 の参加登録の受付を開始

【2022年7月19日】

アドビ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：神谷 知信、以下：アドビ）は、2022年10月19日（水）～10月20日（木）（米国時間:10月18日～20日）までの期間で開催されます、クリエイティブの祭典 Adobe MAX 2022 の参加登録の受付を本日より開始いたしました。



【Adobe MAX 2022 イベント概要と登録方法について】

Adobe MAX は、「クリエイティブの楽しさをすべての人に」をテーマに、日本オリジナルコンテンツ、グローバルのコンテンツ共に多くのプログラムをご用意しており、本イベントに参加登録いただくことで、オンラインセッションはすべて無料で参加することができます。10月19日（水）～10月20日（木）（米国時間:10月18日～20日）までの期間で、米国・ロサンゼルス会場とオンラインにて世界同時開催いたします。

Adobe MAX 2022 ご登録サイトは[こちら](#)（日本語）

Adobe MAX 2022 は、米国時間での開始を皮切りに、日本を含む主要地域のタイムゾーンに合



わせた各リージョンのキーノート（基調講演）や会場およびオンラインでの300以上のブレイクアウトセッションを公開します。

日本からのお客様向けには、日本語で行われるセッションをはじめ、英語でのブレイクアウトセッションも日本語字幕で視聴できるようになり、多くのコンテンツをご視聴いただけます。それ以外にも開発中の技術を一足先にご紹介する MAX Sneaks や、ワークショップなどが用意されており、クリエイティブな著名人、製品スペシャリスト、講演者、同じ志を持つ仲間からの刺激を受けることが可能です。日本オリジナルコンテンツの登壇者情報など詳細情報につきましては、8月後半に発表いたします。

Adobe MAX 2022 では次のような体験をご用意しています。

- インスピレーションを刺激する 300 以上のクリエイターや製品エキスパートによるライブセッションやオンデマンドセッション（30 以上の日本セッション含む）
- アドビがお届けする最新の魔法のようなイノベーションを体験
- 音楽ゲストによるパフォーマンスやブレイクアウトセッション
- ライブチャットで登壇者やクリエイティブコミュニティとの交流

また、参加登録されたお客様には視聴スケジュールの管理や気になるセッションのお気に入り登録、イベント期間中にセッション資料のダウンロードも可能になります。今後の最新情報は [Adobe MAX ウェブサイト](#)にてご確認ください。

※参加は Adobe ID（登録は無料）が必要です

■「アドビ」について

アドビは、「世界を動かすデジタル体験を」をミッションとして、3つのクラウドソリューションで、優れた顧客体験を提供できるよう企業・個人のお客様を支援しています。[Creative Cloud](#) は、写真、デザイン、ビデオ、web、UX などのための 20 以上の デスクトップアプリやモバイルアプリ、サービスを提供しています。[Document Cloud](#) では、デジタル文書の作成、編集、共有、スキャン、署名が簡単にでき、デバイスに関わらず文書のやり取りと共同作業が安全に行えます。[Experience Cloud](#) は、コンテンツ管理、パーソナライゼーション



ョン、データ分析、コマースに対し、顧客ロイヤルティおよび企業の長期的な成功を推進する優れた顧客体験の提供を支援しています。これら製品、サービスの多くで、アドビの人工知能（AI）と機械学習のプラットフォームである [Adobe Sensei](#) を活用しています。

アドビ株式会社は米 Adobe Inc.の日本法人です。日本市場においては、人々の創造性を解放するデジタルトランスフォーメーションを推進するため、「心、おどる、デジタル」というビジョンのもと、心にひびく、社会がつながる、幸せなデジタル社会の実現を目指します。

アドビに関する詳細な情報は、web サイト (<https://www.adobe.com/jp/about-adobe.html>) をご覧ください。

###

© 2022 Adobe. All rights reserved. Adobe and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.